

認知症で入院中の方の言葉は、認知症者の心をよく表しています。認知症者の心理を理解しましょう。



* 医師と認知症の間瀬さんとの会話

「私はどこが悪いんでしょうね。」
体はまだ大丈夫ですが、認知症がありますね。

「認知症って、どういう病気でしょうか？」
物忘れがありますね。

「ああ、もの忘れですね。そういえば、すぐ忘れます。」

「何か、皆が私から離れていくようで、さびしいんです。」
「生きていても、何の役にも立たなくなったので、いっそ死んでしまいたい。太鼓橋があったら、そこから飛び込んで死んでしまいたいとも思った。でも、子や孫に迷惑をかけるし、世間体も悪いので、思いとどまっています。」

「今日でここをお暇します。」
まだここに居ていいですよ。今、間瀬さんが入れる良い老人ホームを探しています。それまでここでゆっくりと養生しててください。
「そうですか。それは有難うございます。」
「わたしはそう長生きせんていいが、先生は役に立つ人だから長生きしてください。」

認知症になると、周囲のことが理解できず、孤独になるようです。人に役立つ人間でなくなったことを思い、希死念慮がしばしば出ます。こうした不安は、心気症(肩の痛みや胃腸症状など)を時々訴えます。

- ①認知症者は、一人にしないことが大切です。
- ②周囲の人に迷惑をかけていると思う人も多く、こういう人はスタッフに遠慮しがちです。役に立たないと思っている人も多く、根底には早く死んだ方が良く思っている場合も多いようです。
- ③介護生活の場では、安心して療養できるという保証を与えると良いでしょう。

お茶会のご案内

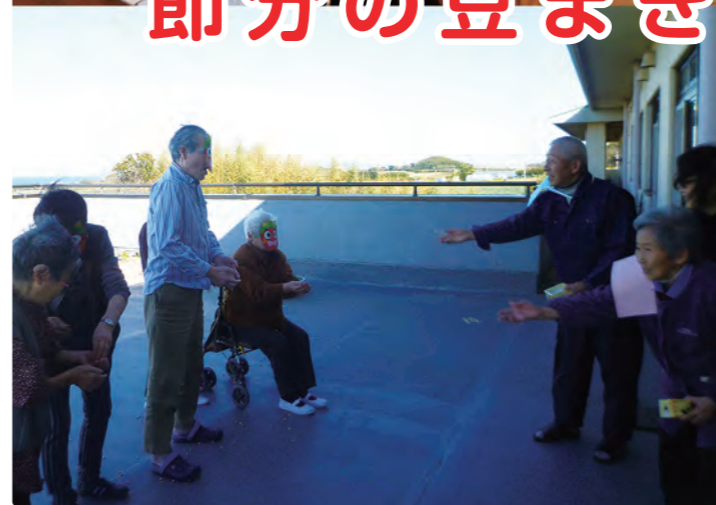
日時: 3月20日(日) 10:00~12:00

場所: あい寿の丘

皆様のお越しをお待ちしております。



節分の豆まきを行いました



節分は助六寿司

節分にちなんだ鰯のうま煮・もずくの味噌汁・旬の蕪のそばろ煮・抹茶寒天。お寿司にかぶりつき、幸運を引き寄せられたかな。

あい寿の丘では「鬼は～外！福は～内！」と鬼を追い払い、豆を食べて一年の無病息災を願いました。

また、みなみ苑には今年はたくさんの鬼が現れました。推定70～90歳です！

年男・年女さんによる節分の豆まきを行いました。

ひだまりには、赤鬼さんと青鬼さんが現れみんなで豆をまいて、鬼退治をしました。

その後は、無病息災を祈願し、福豆と鬼のお饅頭を堪能しました。

家族懇談会を開催しました



みなみ苑では、新年会を兼ねた家族懇親会を行いました！

美味しい食事もいっぱい用意し、メニューは、手巻き寿司・ピザ・豚汁等々盛りだくさんでした。

家田統括施設長によるギター演奏では、ご家族のみなさまもマイクを持ったり踊ったりと、とても盛り上がりました！

ビンゴゲームも白熱しました。

ご家族様・職員のみなさんのご協力のおかげで、楽しい新年会を過ごすことができ、良い一年のスタートとなりました。

多数のご参加、ありがとうございました。



ひだまりの野菜作り

11月に植えた、スナップエンドウのお花が咲きました。

プクプクの実が付くのが楽しみです！



口腔ケア講習を実施しました

南知多病院・歯科医の田中先生が、南知多町デイサービスセンターで口腔ケアの講習をしてくださいました。

ご利用者様も真剣に聴かれていましたよ！

これからも、口腔ケアの大切さを学び、しっかりケアして行きたいと思います。

田中先生ありがとうございました。

演奏会を開催しました！

ワイワイブラザーズの皆さんが、南知多町デイサービスセンターへ来所されました。

色々な音の出る縦笛とドラムの奏でる曲は最高で、懐かしい曲・最近の曲等、沢山演奏してくださいました。

感動されてお礼をされる方もみえました。

とっても、良かったで～す！



あい寿の丘でいちご作り

あい寿の丘では、頂いたイチゴの苗を中庭で育成中です。

小さな実を3つ発見！葉っぱの後ろに隠れていたのでもうすぐ収穫です。

まだまだ、緑色ですがこれからどんどん大きくなるので、赤くなったところで収穫しておいしくいただきますね！

そよかぜに神社ができました



新しい年が始まり、そよかぜデイサービスセンターでは鳥居を作り、ご利用者様に一年の抱負を書いて頂きました。この抱負を胸に、元気に一年間過ごして頂きたいですね。

南知多町デイサービスセンターでストラップ作り



ハマグリ（ハマグリ）の貝殻に布を貼ってストラップを作りました。貝殻は大小色々あり、じっくり選びました。出来上がると早速鞆に付ける方、大事にしまわれる方と色々でしたよ。